

2023(令和 5)年度入学試験問題

国 語

(注意) 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

盈進高等学校

□ 次の【文章Ⅰ】・【文章Ⅱ】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【文章Ⅰ】

九月のはじめの朝、マンションのエレベーター。山本さんが八階から乗って下っていると、川村さんが六階から乗り込んできた。二人ともどこかへ出かける身支度をしている。

山本：こんにちは。

川村：こんにちは。

山本：相変わらず暑いですね。

川村：本当に暑いですね。もう汗が出てきました。早く涼しくなるといいんですが。

山本：ところで、今日はどちらまで？

川村：ちよつとその辺まで。

山本：そうですか、わたしはちよつと雑用があつて。

(一階に到着してドアが開く)

川村：そうですか、じゃあ、失礼します。

山本：失礼します。

(二人は玄関と裏玄関へと、別方向に向かって歩いて行く)

そもそもことばによるコミュニケーションというのは、どんな役割を果たすのだろうか。コミュニケーションとは「何かを伝えること」とは誰もが思うところだろう。とくに、「何か情報を伝える」ということがまず **A** 浮かぶ人も多いかもしれない。

しかしこの章のはじめに示したやりとりを見てみよう。よく交わされるたぐいの会話であるが、何を伝えあっているのだろう。少なくとも、

何か情報を伝えているというわけではない。「こんにちは」と言うのは単なる挨拶だし、「暑いですね」と言うのも、互いに分かりきったことである。山本さんは「どちらまで？」と一見相手の行き先を尋ねているようだが、川村さんの答への「その辺」というのは具体的な場所を指しているわけではなさそうである。

B、山本さんはそれ以上詮索することもない。そして彼自身も「わたしはちよつと雑用があつて」と、これも川村さんに具体的な場所を告げず終いであるし、「雑用」が何であるかも伏せたままである。

①それではこんな会話を交わしても無意味なのだろうか。いや決してそんなことはない。多少とも面識のある相手に対して、沈黙のままであつたら、何か相手を無視したような感じになるであろう。何の情報も与えない会話であるが、それによって、相手を決して無視しておらず、気づかいを示していることをお互いに確認できたのである。

コミュニケーションの重要な役割として、情報を伝えるほかに、話し手のいろいろな配慮を伝えるということがある。本章冒頭の会話はその極端な例で、専ら、「あなたの存在を無視せず気づかっていますよ」という配慮のみを伝えようとするものである。これを、文化人類学者のマリノフスキーは「交感的交わり (phatic communion)」と呼んでいる。

C、冒頭の会話でもそうなのだが、こういう場合に気候のことが話題としてよく取り上げられる。なぜなのだろうか。それは要するに無難な話題だからである。気候の話題なら、相手のプライバシーに踏み込むわけでもないし、意見が食い違う心配もない。相手が親しくなれば、もう少し相手に踏み込んだことも話題にし得る。「あ、髪型変えたんだね」「その服に合っているよ」といったことを口にして相手への気づかひを示すことができるだろう。ただしこの辺は慎重さも必要である。相手が踏み込まれすぎたと感じると、差し出がましい、干渉がましいと思つたり、さらには「セクハラ」にもなり得るわけである。

②コミュニケーションを、道具的なものと自己充足的なものに分ける、という考え方があつた。これは現代の社会心理学の先駆者の一人であり、後には他の心理学の分野でも a カツヤクしたフェスティンガーが提唱したものである。この区別を借用しよう。道具的コミュニケーションを、情報を伝えて目的を遂行する「道具」としてのコミュニケーションと考える。一方自己充足的コミュニケーションは、感情を表明することが目

的となつてゐるようなコミュニケーションである。自分の気持ちの表明から、相手を配慮することや相手と共感することにもつながる。交感的な交わりはその極端な場合だが、それよりはもっと幅広く考えることができる。実質的な内容があつても、それが情報を伝えるというより、相手との気持ちを通わせることに主眼がある、という会話は結構多い。自分のうれしかったことや悩みを話す、相手をほめる、慰める、相手に共感する、噂話^{うわさ}をする、冗談を言うなど、日常会話の多くは、気持ちを通わせたり相手に気配りすることに費やされている。

恋人同士が携帯で話している場合を考えてみよう。二人は別々の会社に勤めている。「今日職場で山田課長が無茶な**bギョウム**を押しつけてきた」「今日の昼ご飯はコンビニのおにぎりで済ませた」「同僚の由美子さんがモトカレとまたつきあいはじめた」、といったような話が脈絡なく続く。そんな場合、そうした内容を伝えるのが目的というよりは、相手とコミュニケーションの場を持つこと自体を楽しんでいることになる。自己充足的コミュニケーションといえよう。

一方、筆者が学生時代のある先生は（高名な社会学者であつたが）毎回教室に入つて来られると、着席して無言で自分のノートを広げ、「今日は第3章の2節から始めます」とだけ前置きしてそれを読みはじめるのが常であつた。一時間半の授業の間、延々とそれが続き、時間が来れば「今日はこれで終わります。次回は第4章からです」と言つてさっさと退室された。これなどは道具的なコミュニケーションの例といつてよい。

以上、自己充足的コミュニケーションと道具的コミュニケーションの例を挙げたが、実際の会話のやりとりでは、道具的、自己充足的のどちらか、というより、両方の要素が混じり合っている、と捉えるべきであろう。右の恋人同士の会話にしても、その中に「今週の土曜日はどこで待ち合わせるか」のような、実質的な目的、つまり道具的な部分も含まれていることが多いだろう。

（岡本真一郎『言語の社会心理学 伝えたいことは伝わるのか』による）

【文章Ⅱ】

私たちがどうして一万円を持つとうれいいのかといえれば、他人が一万円として受け取ってくれるからです。この「誰かが受け取ってくれる」

というところがポイントです。これは物理法則ではありません。多くの人が「価値がある」と思っていることに意味がある。——社会科学の出発点は、ここにあります。

人々の思い込み、心理、cキタイによって、一枚の紙きれが一万円の価値を持つ。すべての人が一万円の価値があると思うから、一万円分の価値が生じる。この論法を「自己循環論」といいます。

おカネの価値に、物理的根拠はない。「皆がおカネだと思って使うから皆がおカネとして使う」という自己循環論が、おカネに価値を与えている。紙幣だけではなく、硬貨や金銀も同じです。昔の金銀は宝としてではなく、おカネとして他人が受け取ってくれるから、おカネとしての価値を持っていた。そうでなければ人に渡さずに自分で持ち、装飾品として使うでしょう。金銀がおカネとして使われるということは、装飾品としてのもの以上の価値があったということです。

③同じことはコトバについてもいえます。コトバは単なる空気の振動。「ドロボー」といってもすべての人間が「ドロボー」という意味にとるのではなく、アメリカで叫んでも誰も振り向いてくれません。日本語を理解する人にしか通用しないわけです。

インクのシミである文字、書きコトバも同じです。「立入禁止」と書かれた看板を見た人は、そこに入ろうとしない。「立入禁止」の意味を持つとみんなが思っているから、通用するんです。

このように、おカネもコトバも自己循環論法の産物です。誰もがそう思っているから価値や意味を持つという、不思議な存在。だから、物理的性質としても遺伝子的性質としても説明がつかない、みんながそう思っているというプロセスで価値を帯びた、意味を持ったということです。さあ、これでおカネやコトバの本質が、かなり説明されてきました。

(中略)

コトバさえ共有していれば、知らない人とでも自由にコミュニケーションが図れます。文字だったらもつと便利で、私が中国へ行ったとすれば、漢字を使った筆談がある程度成立する。

文字によるコミュニケーションが行われるインターネットでは、見知らぬ人とどんどん交流できます。ネットの世界には危険なdソクメンも大きいのですが、④の範囲は大きく広げられる。おカネも同じで、流通していれば、見知らぬ人と交換ができる。昔、内と外があった

時代は、外の人とは物々交換をしませんでした。また、身分が違う相手とも **e** コウエキしなかった。古代ギリシャには奴隷がいましたが、普通の人は奴隷とは交換をしませんでした。

でも、おカネさえ持っていれば奴隷でも交換できた。ギリシャの一番有名な奴隷はイソップ。彼は物語を書いて稼いだおカネで自由になることができました。法律がしっかりしていれば、土地を取引することもできます。法律がないと、相手の腕力が強そうだから交渉をやめようと思ったり、権力のある人に土地を取られたりしてしまう。

おカネやコトバ、それから法律などによって、⑤人間は同じ人間になる。生命科学的な意味ではなく、抽象的な意味で人間はお互いに平等な関係を持てるのです。おカネやコトバをつなぎ役として、人間は「世界の物理的構造」、「生物としての遺伝的本能」から、ある意味において自由な存在になることができました。そして生物学的な意味ではなく、普遍的人間の本性をつくったのです。

では、人間は誰でも等しくハッピーになれるのかというと、残念ながらそうではありません。おカネとコトバ、法律は人間に自由を与えますが、同時にさまざまな問題ももたらします。人間が「世界の物理的構造」「生物としての遺伝的本能」から自由であるということは、不安定な状態に置かれるということでもあるのです。

一万円札には、皆がそう思っているから一万円の価値がある。ところがみんなが疑いを持ち始めたら、日本政府は大丈夫かとなる。みんなが「価値がある」と思わないと、価値は失われてしまう。コトバも同じです。多くの人がコトバの意味を疑い出すと、コトバの意味が消えていく。

皆さんが日本語を大事にしないと日本語はやがて消え、⑥英語にとって代わられる可能性があるわけです。つまり、おカネとコトバを使う社会というのは非常に不安定で、社会がグローバル化すればするほど不安定さは増します。そういう問題が実際に今、世界中で起きているのです。

(桐光学園十ちくまプリマー新書編集部・編『学ぶということ 続・中学生からの大学講義I』所収)

岩井克人「おカネとコトバと人間社会」による)

問一 〱 a 〱 e のカタカナを漢字に直しなさい (楷書で大きくていねいに書きなさい)。

問二 A に入る語句として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 口頭に イ 先頭に ウ 筆頭に エ 念頭に

問三 B・C に入る語句の組み合わせとして適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア B 要するに C なぜなら イ B しかし C ところで ウ B なぜなら C しかし エ B ところで C それでは

問四 ①「それではこんな会話を交わしても無意味なのだろうか。いや決してそんなことはない」とありますが、「こんな会話」には、どのような役割がありますか。「役割」に続くように、本文中の語句を用いて、十五字以上二十字以内で答えなさい。

問五 ②「コミュニケーションを、道具的なものと自己充足的なものに分ける」について、次の問いに答えなさい。

(1) 自己充足的なコミュニケーションとはどのようなものですか。「コミュニケーション」に続くように、本文中から十八字で抜き出しなさい。

(2) 次の i・ii のコミュニケーションは、どちらの要素が強い例ですか。「道具的なもの」が強い場合はアを、「自己充足的なもの」が強い場合はイを、それぞれ記号で答えなさい。

i 電話が鳴りました。

「はい、〇〇会社の佐々木でございます。」

「お世話になります、私、△△会社の佐藤と申します。□□担当の藤井さんをお願いいたします。」

ii 道端でご近所の知り合いを見かけました。

「こんにちは、最近お店はどうですか？」

「あー、コロナの影響はやっぱりありますけど、ぼちぼちですね。」

問六 ③「同じこと」とは、どのようなことですか。適当でないものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 物理的根拠がないこと

イ 遺伝的性質をもつこと

ウ みんなが価値があると思わないと、価値は失われてしまうこと

エ 人々の思い込み、心理、願いによって、価値や意味を持つこと

問七 ④に入る四字熟語として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 意思疎通

イ 意気投合

ウ 意味深長

エ 異口同音

問八 ⑤「人間は同じ人間になる」とありますが、これはどういうことですか。次の文はそれを説明したものです。①は六字以上十

字以内、②は十五字以上二十字以内で答えなさい(句読点を含みます)。

人間は、①を持つことによって、どのような立場であっても②ということ。

問九 ⑥「英語にとって代わられる可能性があるわけです」とありますが、これはどういうことが考えられますか。その具体例として適

当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 海外の企業との取引が増えたため、社内言語を英語で統一すること

イ 大学入試で有利になるため、英語に関する資格取得に励むこと

ウ 他の国の文化を理解するため、相手の母国語を学ぶこと

エ 外国人観光客のために、英語表記の看板や道路標識を増やすこと

問十 次の会話は、生徒たちが【文章Ⅰ】の筆者の考えと【文章Ⅱ】の筆者の考えについて話し合っているものです。生徒A～Eの発言は、本

文内容に対して正しいですか、誤っていますか。正しければ○を、誤っていれば×を答えなさい。

A：【文章Ⅰ】では、「交感的交わり」がキーワードになっていると思うよ。目の前の人との何気ないやりとりが大切なんだと思う。現在もコロナ感染状況により、面と向かったやり取りもしにくい状況があるからこそ、余計に実感することだね。

B：あと、「自己充足的コミュニケーション」と「道具的コミュニケーション」の例が出てきたけれど、日常的には両方の面が含まれていると述べられていたよ。私も伝達だけのコミュニケーションでは人間関係が深まらないと思うよ。

C：同じコミュニケーションでも、【文章Ⅱ】の筆者は誰もが同じ価値観を持っていれば交流する場が増えるし、その交流のおかげでお金もうけもできると述べているね。

D：ということは、【文章Ⅰ】と【文章Ⅱ】の両筆者の共通点としては、他者とコミュニケーションを取ることができれば楽しくなるし、世界が広がると述べているところだね。

E：【文章Ⅱ】の筆者の考え方でいくと、おカネとコトバを使う社会は、グローバル化によって価値観が統一されれば安定した社会になるってことだね。

以内で書きなさい。

日本の言語・方言の中には、消滅の危機にあるものがあります。

それには、ユネスコ（国連教育科学文化機関）が平成21年2月に発表した“Atlas of the World’s Languages in Danger”（第3版）に掲載された8言語・方言や東日本大震災の被災地の方言が該当します。

文化庁では、消滅の危機にある言語・方言の実態や保存・継承の取組状況に関する調査研究をはじめ保存・継承に資する様々な取組を行っています。

“Atlas of the World’s Languages in Danger”（第3版）には、世界で約2,500に上る言語が消滅の危機にあるとして掲載されています。日本国内では、8言語・方言が消滅の危機にあるとされており、掲載されている8言語・方言とそれぞれの危機の度合いは次のとおりです。

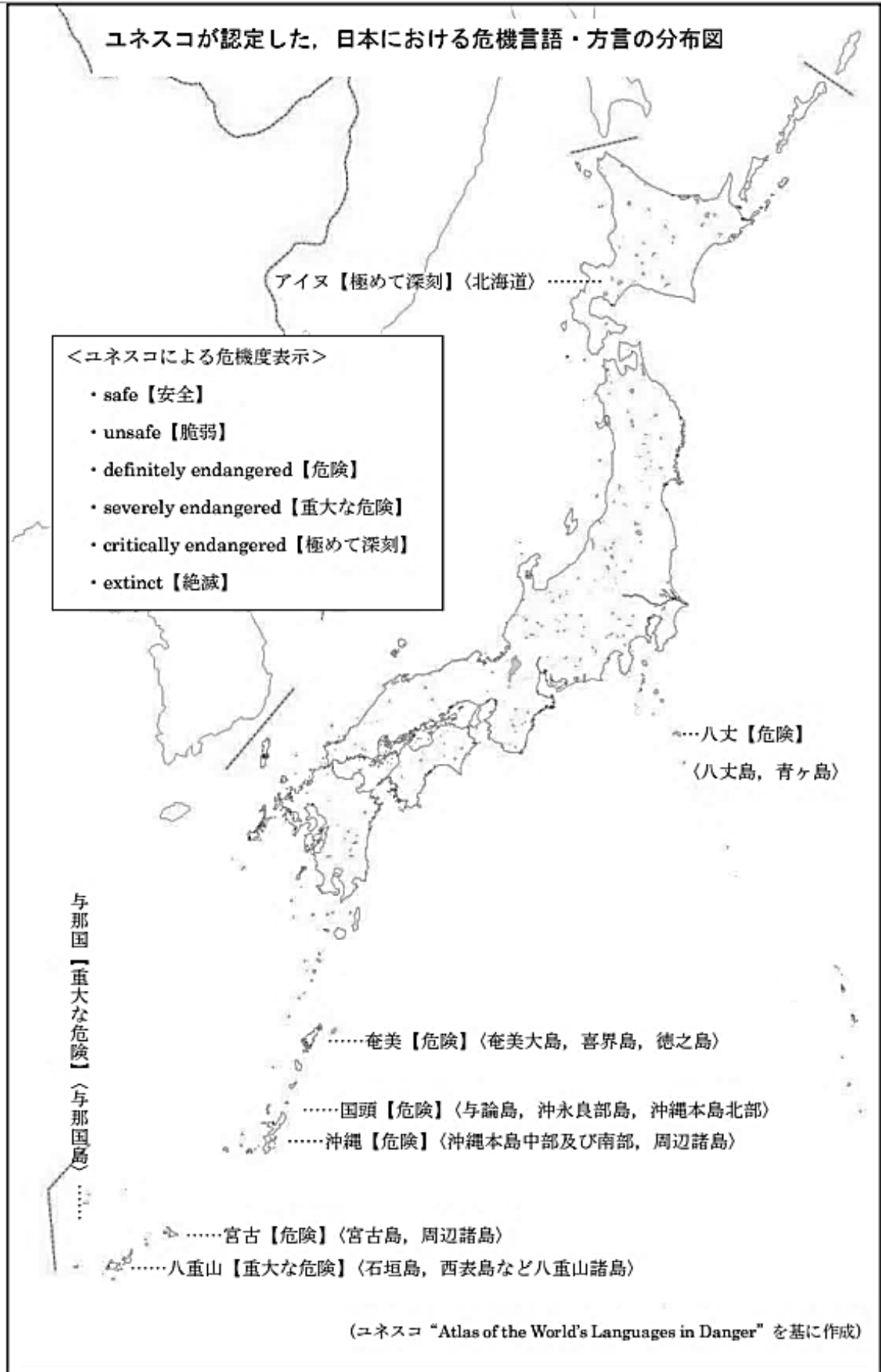
【極めて深刻】アイヌ語

【重大な危険】八重山語（八重山方言）、与那国語（与那国方言）

【危険】八丈語（八丈方言）、奄美語（奄美方言）、国頭語（国頭方言）、沖縄語（沖縄方言）、宮古語（宮古方言）

※ユネスコでは「言語」と「方言」を区別せず、全て「言語」で統一しています。

ユネスコが認定した、日本における危機言語・方言の分布図



二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

不破瑛太郎ふわえいたろうは県大会を突破できない千間学院高校せんげん（通称「千学」）の吹奏楽部を变えるために一年生の茶園基ちやえんもとぎを部長にし、大会ごとにコンクールメンバーを決めるためのオーディションを行うことにした。そして、「千学」吹奏楽部は地区大会と県大会を順調に突破し、西関東大会へとコマを進めていく。

西関東大会を半月後に控えたある日、メンバーを決めるオーディションを終えた瑛太郎と基は一緒に学校を出た。

「そういえば」

あつ、と声を上げながら、基がこちらを見上げてくる。

「先生は、どうしてアクアアルタ※なんて知ってたんですか？」

※しおかせ 『汐風のマーチ』のことか

「ヴェネチア、行ったことあるんですか？」

「ないよ」

そういえば、「アクアアルタ」という単語を教えただけで、それ以外何も話していなかった。

「俺の両親の新婚旅行先」

実家のリビングにそのときの写真が飾ってある。 a 高潮で鏡面のようになった広場で若い父が若い母を抱き上げる、小つ恥ずかしい写真が。

しかも若い父の顔が自分にそっくりで、目元は父の首に手を回して笑う母にそっくりで、見ていられなかった。

でも、『汐風のマーチ』を初めて聴いたとき、思い浮かんだのがその写真だった。

そんな話を A と聞かせてやると、基は「なんだそれ」と b 軽やかに笑った。

「笑うなよ。誰にも言ったことないんだから」

そうだ。当時の吹奏楽部の仲間にも、徳村※にも、三好先生※にも、もちろん森崎※さんにも。

「すみません。なんか微笑ほほえましかったから」

そんな実家に近寄らなくなってから、もう随分経たつ。

「両親は俺が大学を出たら教員になるものだと思ってたから、千学でコーチをしてることにごc立腹たぶなんだ」
コンクールが終わったらけじめをつける。つけなきゃいけない。やらなきゃならない。

「①まあ、悪いのは俺だ」

お前は俺みたいになるなよ。そうこぼしそうになって飲み込む。彼はきつと悲しい顔をする。②流れ星がすつと闇夜に消えるような顔で、瑛太郎を見る。耐えられる気がしない。

d並木道なみきみちを抜けて正門をくぐったら、何故なぜか藤田商店の看板が目に飛び込んできた。テントの青色が、薄暗い中でも不思議とe鮮あざやかで、艶あでやかで、視界から追いつくことができない。

「先生」

そんな瑛太郎を引き戻したのは、やはり基の声だった。狭い歩道で立ち止まった彼は、言葉を探すように視線を宙にさまよわせ、ゆっくり口を開いた。

「先生は、先生だと思えます」

何を言っているんだとX口走くちそうりそうになって、瑛太郎はぎゅつと唇を引き結んだ。冗談でもY軽口かろくちでもないのだと、基の表情を見ればわかった。

「先生、姉ちゃんが倒れたときに言いましたよね。自分が何をやりたいのかわからないって」

「言ったな」

「高一の僕に言われても説得力なんてないと思いますけど、先生は、凄すごく先生です。凄すごくいい先生です。僕だけじゃなくて、玲れ於お奈も越谷先輩こしがやも絶対にそう思ってます。さつき越谷先輩に『全日本で戻って来い』って言った先生を見て、この人は、吹奏楽がなくなったら何も無い人じゃないって思ってたんです。吹奏楽があるから、先生は先生なんだ」

半年前まで中学生だったこの眼鏡の少年に、一体何がわかる。自分の進路も見定まっていな子供に、何が判断できる。

でも、③だからこそ破壊力は抜群なんだな。瑛太郎は吹き出しそうになった。不自然に瞬きが多くなる。多くなって、胸の奥から笑いが込み上げてくる。

「ありがたいな、茶園」

彼の頭をBと掌で掻き回して、そのまま藤田商店まで連れて行った。まるで、いつかと同じだ。瑛太郎はレジにいた藤田さんに小銭を渡して、瓶のコーラを二本買った。

そして、いつかと同じように、レジ横の柱に吊されたノートを見つめる。

「書いていくかい？」

瑛太郎の視線に気づいた藤田さんが、そつとノートに手を伸ばした。ページを捲り、紐でノートに括り付けられた鉛筆を差し出して来る。「卒業生ご来店記念」と書かれたノートは、千学の卒業生の名前であふれ返っている。

「十月に、吹奏楽の全国大会があるんです。それが終わったら、書きに来ます」

そんな約束をしているものか。自分で言っ戸惑った。でも④この戸惑いが、不破瑛太郎にこの半年でもたらされた変化なのだと思う。

「まだ、何にも成し遂げてないんですよ、俺」

ノートを引っ込め、瑛太郎に釣り銭を渡しながら、藤田さんはニツと笑って見せた。

「別に、うちは成功した卒業生しか来ちゃいけないわけじゃない。失敗した子だって、なんにもない子だって、別にいいんだけど。でも、そういうことなら、待ってるから」

またコーラ飲みにおいで。そう手を振った藤田さんに礼を言って、店を出た。

店先で乾杯をすると、コーラを一口飲んだ基は瑛太郎を探るように見上げてきた。

「全日本が終わったら、ノートに何を書くつもりなんですか？」

「さあ、何だろうな」

自分でもわかんないよと呟き、分厚い瓶の中で揺れる炭酸を見つめる。ラベルのせいなのか、瓶の口に向かって立ち上る気泡は、どれも赤みがかって見える。

「わかんないけど、『学校の先生を目指します』と書けたらいいなと、今は思ってるよ」

瓶に口を寄せていた基が動きを止める。その瞳がゆっくりと動いて、瑛太郎を向く。

見開かれた二つの瞳に、外灯の光にも、炭酸の泡の煌めきにも負けない輝きが宿る。俺の両目がそんな風に光ることは、この先あるのだろうか。

コーラの瓶を握り締め、基がこちらに躍り寄ってくる。鼻息荒く、瑛太郎に迫ってくる。

「先生、僕達が全日本で金賞を取ったら、千学で先生になってください」

ああ、そうだ。そうだった。高校生とは、こうなのだ。何かを追い求める高校生は最強だ。熱量も、輝きも、速度も、何もかも。それがこんなに眩しく感じるようになるなんて。

羨ましいと思ってしまうだなんて。

「僕と、音楽をやってください」

自分より頭一つ分小さな⑤茶園基という高校生の中に詰まった熱に酔いそうになりながら、瑛太郎は笑った。笑うことしかできなかった。じやないと、涙を流してしまう気がした。

瞬きを繰り返したら、体がぶるりと震えた。寒気ではない。緊張でも恐怖でもない。

⑥きつと、武者震いだ。

(額賀濤『風に恋う』による)

※アクアアルタ：イタリアのアドリア海北部で定期的に発生する高潮（異常潮位現象）。瑛太郎が基に伝えた「汐風のマーチ」を演奏するときのイメージ。

※汐風のマーチ：田嶋勉作曲・第五八回（二〇一〇年）全日本吹奏楽コンクール課題曲Ⅳ。コンクールで瑛太郎がソロ演奏を担当した。

※徳村：瑛太郎が部長をしていたときの副部長。 ※三好先生：教え子の瑛太郎にコーチを頼んだ「千学」吹奏楽部の顧問。

※森崎さん：瑛太郎たちが全日本吹奏楽コンクールで金賞を受賞したときのドキュメンタリー番組を制作したディレクター。

※玲於奈：基の二歳年上の幼なじみ。「千学」吹奏楽部の元部長。

※越谷先輩：サックスのパートリーダーだが、今回のオーディションで落選した三年生。

問一 a e の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 A B に入る語句を、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。

A ア すらすら イ つらつら ウ しげしげ エ ひしひし

B ア そろそろ イ さらさら ウ みしみし エ ぐりぐり

問三 X 「口走り」・Y 「軽口」の意味として適当なものを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。

X 「口走り」

A 無意識に口から出す イ うそを言う ウ 早口で説明する エ よく考えて話す

Y 「軽口」

A 興味深い話 イ 真剣な話 ウ 面白い話 エ 情けない話

問四

①「まあ、悪いのは俺だ」とありますが、瑛太郎の思いとして適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア これからの生き方を決めかねているのは自分に非があることだと自覚し、これからの生き方をきちんと自分で決断するべきだったと後悔している。

イ これからの生き方を決めかねているのは自分に非があることだとわかるが、千学のコーチをしていることを認めない両親に向き合えずにいる。

ウ これからの生き方を決めかねているのは自分に非があるとはいえず、勝手に自分の将来を決められたことに怒りを持ち、投げやりになっっている。

エ これからの生き方を決めかねているのは自分に非があるとは思えず、本当にこれから自分が教員を目指していくべきかためらっている。

問五

②「流れ星がずっと闇夜に消えるような顔」とは基のどのような様子を表現していますか。適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア あこがれている瑛太郎から瑛太郎自身を否定する言葉を聞くことで、気持ちがとても暗くなる様子。

イ あこがれている瑛太郎から基も同じようになると決めつけられることで、気持ちが離れていく様子。

ウ あこがれている瑛太郎から両親への不満を聞かされることで、瑛太郎に対して不信感を覚える様子。

エ あこがれている瑛太郎から新婚時代の両親の話聞いたことで、瑛太郎の両親に同情している様子。

問六

- ③「だからこそ破壊力は抜群なんだな」とありますが、その理由として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 子供の浅い考え方であり、他者の思いを全く無視した言葉だから。
 - イ 将来を見据えた考え方であり、的確な判断から出た言葉だから。
 - ウ 明確な未来を予想した考え方であり、真理を突いた言葉だから。
 - エ 未熟な考え方ではあるが、まっすぐな思いで発せられた言葉だから。

問七

- ④「この戸惑い」とは何に対する「戸惑い」ですか。瑛太郎の発言を参考にして、三十字以上四十字以内で答えなさい。

問八

- ⑤「茶園基という高校生の中に詰まった熱」とありますが、この表現と同じような基の様子を描写した一文を抜き出し、初めの五字を答えなさい。

問九

- ⑥「きっと、武者震いだ」とありますが、ここでの瑛太郎の気持ちとして適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 全国大会で金賞を取るためには瑛太郎が千学の先生にならなければならないと思い込んでいる基の考えに嫌気がさしている。
 - イ 全国大会で金賞を取るという目標を追い求める基の熱量や輝きのある言葉に圧倒されながらも、自分も気持ちが高ぶっている。
 - ウ 全国大会で金賞を取ったら千学の先生になるように瑛太郎に迫ってくる基の圧力に押されて尻込みしてしまっている。
 - エ 全国大会で金賞を取らなかつたら瑛太郎は千学の先生になることができないということを知り、内心ではびくびくしている。

問十 「基」の人物像として**適当でないもの**を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「言葉を探すように視線を宙にさまよわせ」とあるように、深く考えて言葉を選び、発言している。
- イ 「探るように見上げてきた」とあるように、瑛太郎の今後の考えを知りたいと思っている。
- ウ 「瓶に口を寄せていた基が動きを止める」とあるように、相手の言葉にすぐ反発してしまう幼さがある。
- エ 「鼻息荒く、瑛太郎に迫ってくる」とあるように、思いを全力でぶつける純粋な気持ちを持っている。

㊦ 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある時、^{はあり}蟻にむかつて誇りけるは、「いかに蟻殿、つつしんでうけたまはれ。①われほど②果報^{くわほう}いみじきものは世にあるまじ。其^aゆ^ゆ多^たは、天道に奉る、あるひは国王に備はる物も、まづわれさきになめこころむ。③しかのみならず、百官^{ひやくしやう}卿相のいただきをもおそれず、ほしるままにとびあがり候。④わとのぼらがありさまは、あつばれ⑤つたなきありさま」とぞ笑ひ侍りき。蟻答へていはく、「もつとも御辺^{ごへん}はさやうにこそめでたくわたらせ給へ。ただし世に沙汰^{さた}し候は、御辺ほど人にきはるるものなし。さらば、蚊^はぞ蜂^{はち}ぞなどのやうにかひがひしく仇^あをもなさで、ややもすれば④人に殺さる。⑤しかのみならず、春過ぎ夏去りて、秋風立ちぬるころは、^bやうやくつばさをたたき、頭^{かしら}を撫^なでて手をするさまなり。秋深くなるに従つて、つばさより腰抜けて、いと⑤さまとぞ申し伝へ⑥。わが身はつたなき者なれども、春秋の移るをも⑦知らず、ゆたかにくらし侍るなり。みだりに人をあなづりたまふものかな」と恥ぢ^はしめられて⑧立ち去りぬ。そのごとく、いささかわが身にわざあればとて、みだりに人をあなづる時は、かれ又をのれをあなづるものなり。

『伊曾保物語』による

※ 蠅…昆虫の「ハエ」のこと。

※ 天道に奉る…神にお供えする。

※ 国王に備はる物…国王に供えられる食べ物。

※ しかのみならず…それだけではなく。

※ 百官卿相…役人や貴族。

※ 候…です、丁寧な表現。

※ わとのばら…おまえたち。

※ 侍り…です、丁寧な表現。

※ 御辺…あなた。

※ わたらせ給へ…いらつしやいなさる。

※ 世に沙汰…世間の評判。

※ かひがひしく仇をもなさで…さかんに危害をなすのでもないのに。

※ しかのみならず…それだけではなく。

※ つばさをたたき、頭を撫でて手をするさまなり…寒さに弱って、身体の自由がきかない様子。

※ つばさより腰抜けて…羽が抜け落ちて。

※ みだりに…軽率に、むやみに。

※ 恥ぢしめられて…恥ずかしい思いをさせられて。

※ わざ…技術、技芸。

問一 ــــــــــــــــ a 「ゆゑ」、b 「やうやく」の読みを現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問二 ــــــــــــــــ ① 「われ」が指すものは何ですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 蠅

イ 蟻

ウ 国王

エ 百官卿相

問三 | ②「果報いみじきものは世にあるまじ」、③「つたなき」、④「人に殺さる」の現代語訳として適当なものを、次からそれぞれ選び、

記号で答えなさい。

② 「果報いみじきものは世にあるまじ」

ア とても幸運なものは世の中にたくさんいる

イ とても幸運なものは世の中にいないだろう

ウ とても幸運なものが世の中にいるかもしれない

エ とても幸運なものは世の中から消されてしまう

③ 「つたなき」

ア 不運な

イ 趣深い

ウ 賢い

エ 立派な

④ 「人に殺さる」

ア 人を殺した

イ 人に殺させる

ウ 人を殺さない

エ 人に殺される

問四

⑤ に入る言葉として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア いとしき

イ みぐるしき

ウ うつくしき

エ うるはしき

問五

⑥ に入る語句として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア けら

イ けり

ウ ける

エ けれ

問六

⑦「知らず」、⑧「立ち去りぬ」の主語として適当なものを、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 蠅

イ 蟻

ウ 国王

エ 百官卿相

問七 本文を内容から二つに分けた場合、後半部分の最初の五字を本文中から抜き出して答えなさい（ただし、句読点は含みません）。

問八 次の会話は、先生と生徒がこの古文について話をしているものです。これを読んで、あとの□に入る語句を十字以内で答えなさい。

先生 みなさんは「イソップ物語」を知っていますか。この古文は『伊曾保物語』と言って、古代ギリシアの寓話集「イソップ物語」を江戸時代に翻訳出版したものです。寓話とは教訓的な内容がある話のことです。

Aさん 「北風と太陽」を幼いころに読んだことがあります。

先生 よく知っていますね。「北風と太陽」という話にも教訓がありますが、『伊曾保物語』にも教訓があります。今回のこの古文はどんな話でしたか。

Bさん 蠅と蟻が出てきているね。蠅は今も昔も食べ物をなめて生きているんですね。神様や国王に供えられる食べ物まで狙っているって書いてありました。だからかな、蟻に対して横柄おうべいな態度でばかりにしているね。

Aさん けれども蟻も負けてはいません。蚊や蜂とくらべた上で蠅を攻撃していますよ。しかも蠅が冬を越す前に弱っていくことをあげて、蟻自身は一年中「ゆたかにくらし」ていると反撃していますね。

先生 それでは、この古文にはどんな教訓があると思いますか。

Aさん この古文から考えられる教訓は「軽率に人を見下すと□」だと思います。